



2021年7月29日

各 位

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長 大倉 慎
 (コード番号 8071)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員管理本部本部長 森田 誠
 (TEL 052-261-3211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月28日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,200	360	370	200	95.81
今回修正予想(B)	27,000	600	620	450	215.41
増減額(B-A)	2,800	240	250	250	
増減率(%)	11.6	66.7	67.6	125.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年3月期第2四半期)	19,545	127	146	62	28.43

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	940	970	550	263.48
今回修正予想(B)	54,000	1,100	1,150	800	382.96
増減額(B-A)	4,000	160	180	250	
増減率(%)	8.0	17.0	18.6	45.5	
(ご参考)前期実績(2021年3月期)	46,676	817	873	547	255.15

修正の理由

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症や世界的な半導体などの供給難が業績にどこまで影響を及ぼすか不透明な状況でのスタートとなりましたが、自動車分野を中心にお客様の生産活動は堅調に推移しており、懸念されていた半導体などの供給難においてもBCP(Business Continuity Plan)在庫確保などにより供給継続の努力を行ってきたことから、当初予想を上回る見込みとなりました。また、損益面においても、売上高の増加に加え、各種経費の削減に取り組んでおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも当初予想を上回る見込みとなりました。

今後業績予想の修正が必要であると判断した場合は、速やかにお知らせいたします。

* 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上